

令和7年度 大田区立赤松小学校 拡大学校運営協議会

第7回 議事録

日時 令和8年3月4日(水) 13時15分から14時30分まで(地域集会室)

出席者 委員：齋藤所長・林・植木・原澤・溝口・小畔・土屋・川名・伊藤
学校：飯島校長 貝山副校長

- 1 校長挨拶
- 2 金管楽器引継ぎ式参観
- 3 情報交換
- 4 質疑応答・今年度を振り返って

- ・自身も鼓笛隊のトランペットをしていた。引継ぎ式は、子どもたちの達成感、自信につながる。通るたびに子供の声がたくさんあり、挨拶もある、折れしいです。今後も学校と連携できればと思う。
- ・からっぽ公園でじぶんの孫が遊んでいる。また、家ではプラモデルを作っている。いろいろなことに学校の子どもは朝鮮いている。シールやバッジの交換をしている。
- ・金管楽器引継ぎ式絵を見て思い出したことがある。自分が高学年だった時、国立競技場でパレードをした。金管楽器・引継ぎ式は、お互いに良い仲間ができる。良い経験になると思う。
- ・校歌を歌いました。体育館に大人数が入ったのを久しぶりに見ました。校長が来てから33年。公園などができなかつた。それぞれの学年の先生からウェルビーイングについて勉強させてもらった。電車内の広告にウェルビーイングについての入試問題があり、きつかめとして関心が持てた。継続してほしい。
- ・同級生が少なくなつたが、たまに話すこととして、鼓笛隊の話がよく出る。当時は200人くらいいた。校歌についてアレンジがとてもよかつた。このごろ、付き添いの投稿が増えてきている。
- ・校歌、素晴らしかつた。紹介も緒かつた。舞台上の子も紹介してあげるともっとよかつた。学校評価の9番が少し気になつた。

- ・全員であそこまで金管バンドが持って行けたことは、嬉しい。のちの将来に本人たちの役に立つと思う。子どもが一步外にると公園で自分たちの孫が遊んでいるときに一緒に遊んでくれるのできっと良い赤松の子たちなのだと思う。
- ・ウェルビーイングが素晴らしかった。自分たちが幸せでなければいけない。切り替え場面で静かにできることと、学期照会が良かった。良い場面を見た。
- ・引継ぎ式は、強制ではなく楽器のことについて1年のころから毎年触れている様子を見ていることが素晴らしい。学校の工夫も素晴らしい。サッカーチームは受験が終わり、みんな帰ってきた。今後も新しいところに進んでほしい。
- ・校長の意見に足し、子供が動けていることが素晴らしい。引継ぎ式は、自分はリコーダーと鍵盤をしていたが、今回は素晴らしかった。田村先生の熱量も素晴らしかった。
- ・アドマチックに洗足池が出る。よろしくお願いします。

その後資料の説明を行い、14:20分に終わる。